

科目名	健康と環境要説			ナンバリング	561085	授業形態	講義
対象学年	6	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	1単位
代表教員	櫻井映子	担当教員	蝦名敬一、佐藤陽				

授業の概要	薬剤師として身につけておく必要のある、衛生薬学(衛生化学、環境衛生学、公衆衛生学、薬品安全性学、衛生系実習)の基本的事項を以下の各項目に従い復習する。						
到達目標	1. 栄養素の栄養学的意義、栄養価、基礎代謝量、呼吸商について説明できる。2. 食品の腐敗・変敗褐変反応、保存法等について説明できる。3. 食品汚染について説明できる。4. 保健統計の各種指標と定義と意義について説明できる。5. 疫学の役割について説明できる。6. 健康と疾病の予防について説明できる。7. 感染症、生活習慣病、職業病について説明できる。8. 地球環境と生態系について説明できる。9. 環境(水・大気・室内)の基準と評価、健康影響について説明できる。10. 環境基本法の内容、廃棄物に関して説明できる。11. 化学物質の毒性試験、毒性発現、解毒について例を挙げて説明できる。12. 薬物依存について説明できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	国家試験問題の背景にある健康問題への理解を深めましょう。キーワードへの理解、国家試験問題の文章を確実に読み、基本となる知識、定義を思い出し、何が問われているか、的確に把握できるようにしましょう。						
ディプロマポリシーとの 関連	【薬学部薬学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマンイズムと倫理観を具現できる。					
	○	2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。					
		3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。					
	○	5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 国家試験の過去問の、必須問題の8割程度正解できる。 2. 国家試験の過去問の理論問題に50%正解できる。 3. 国家試験の過去問の複合問題に50%正解できる。	1. 国家試験の過去問の、必須問題の9割程度正解できる。 2. 国家試験の過去問の理論問題に65%正解できる。 3. 国家試験の過去問の複合問題に65%正解できる。 4. 他の人にわかりやすく問題の解説ができる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)	○	○			○		100%
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							

課題、評価のフィードバック	模擬試験などで正答率の低かった問題に関して問題点を解説し、関連項目の国家試験の過去問を提示する。さらに問題提議の背景と必要な知識、定義の確認を行う。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	栄養素	栄養素の役割、消化・吸収・代謝のプロセス、栄養学的意義、栄養価、基礎代謝量、呼吸商について学ぶ。(担当: 蝦名敬一)	SBO: C11-(1)-1-1~8 SBO: D1-(3)-①-1~8
	第2回	食品の品質と管理	食品の腐敗・変敗、褐変反応、保存法、食品成分由来発癌物質、食品添加物、保健機能食品、遺伝子組換え食品について学ぶ。(担当: 蝦名敬一)	SBO: C11-(1)-2-1~10 SBO: D1-(3)-②-1~7 ア-D1-①-1~3
	第3回	食中毒	細菌性・ウイルス性食中毒、自然毒、マイコトキシン、化学物質による食品汚染について学ぶ。(担当: 蝦名敬一)	SBO: C11-(1)-3-1~5 SBO: D1-(3)-③-1~3 SBO: ア-D2-②-1
	第4回	保健統計	保健統計の各種指標の定義と意義について学ぶ。(担当: 蝦名敬一)	SBO: C11-(2)-1,2 SBO: D1-(1)-②-1~3
	第5回	疫学	疫学の役割・三要因・種類と方法、症例対照研究、コホート研究、オッズ比、相対危険度、寄与危険度について学ぶ。(担当: 佐藤陽)	SBO: C11-(2)-3-1~7 SBO: D1-(1)-③-1~4
	第6回	疾病の予防①	健康と疾病の予防(予防の概念、予防接種、新生児マスキリーニング)について学ぶ。(担当: 蝦名敬一)	SBO: C11-(3)-1,2 SBO: D1-(2)-①-1~2 SBO: ア-D2-①-1
	第7回	疾病の予防②	各種疾病(感染症、生活習慣病、職業病)について学ぶ。(担当: 佐藤陽)	SBO: C11-(3)-3,5 SBO: D1-(2)-②-1~4 SBO: D1-(2)-③
	第8回	地球環境と生態系	地球環境、生態系、食物連鎖、化学物質の生物濃縮・環境内動態について学ぶ。(担当: 櫻井映子)	SBO: C12-(2)-1-1~6 SBO: D2-(2)-①-1-5
	第9回	水環境、大気環境、室内環境	上水道、水道水の水質基準、下水・排水処理法、大気汚染物質の種類・発生源・環境基準と健康影響、室内環境の評価について学ぶ。(担当: 櫻井映子)	SBO: C12-(2)-2-4 SBO: D2-(2)-③-1-6
	第10回	廃棄物、環境保全、法的規制	廃棄物の種類・処理法、環境基本法、廃棄物にかかわる法律や制度について学ぶ。(担当: 櫻井映子)	SBO: 12-(2)-5,6 SBO: D2-(2)-⑥-1-3 D2-(2)-①-4-5
	第11回	化学物質の毒性、薬品の安全性と毒性試験、解毒	副作用と有害作用、毒性試験の種類、有害化学物質の吸収・分布・代謝・排泄経路・毒性発現、発癌物質と変異原性テストについて学ぶ。(担当: 櫻井映子)	SBO: C12-(1)-1,2 SBO: ア-D2-①-1
	第12回	化学物質の生体への影響	農薬・化学物質の毒性発現と解毒について学ぶ。(担当: 櫻井映子)	SBO: C12-(1)-3,4 SBO: D2-(1)-①-1 D2-(1)-③-1-3
	第13回	薬品による有害反応の発現機序 SBO: C15-(3)-4-1~3、	薬物アレルギー、薬品による各種有害反応について学ぶ。(担当: 櫻井映子)	SBO: C14-(4)-6-2 SBO: D2-(1)-①-2 SBO: E1-(4)-1-4
	第14回	安全性に影響を与える生体の因子	医薬品の安全性に及ぼす各種因子の影響について学ぶ。(担当: 櫻井映子)	SBO: C15-(3)-2-1~3、C15-(3)-4,5-1~3 SBO: E3-(3)-①-③
	第15回	医薬品の相互作用	医薬品の相互作用、健康食品と医薬品の相互作用について学ぶ。(担当: 櫻井映子)	SBO: C15-(4)-5-1,2、C18-(3)-4-3
	試験			
授業の進め方	毎回講義内容に関する国家試験の問題を提示して解き、問題提議の背景と必要な知識、定義の確認を行い解説しながら模範解答を示す。			
授業外学習の指示	毎回の授業内容を確実に復習し、卒業試験、国家試験に向けた自分の弱点ノートを作成する。  (授業外学習時間: 毎週 90 分)			

教科書	配布する資料に従って、授業を進めていく。
参考書	健康と環境第3版 日本薬学会編 スタンダード薬学シリーズ5、東京化学同人、6,100円、ISBN978-4-8079-1711-2、必携衛生試験法第2版 日本薬学会編 4,000円、ISBN978-4-307-47044、最新公衆衛生学第6版 上野仁、他編 5,400円、ISBN978-4-567-47146-6
参考URLなど	なし
その他	[薬剤師として求められる基本的な資質⑤(基礎的な科学力)生体及び環境に対する医薬品・化学物質等の影響を理解するための基本的知識、⑦(地域の保健・医療における実践的能力)地域における人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献、および⑧(研究能力)身の回りの問題発見解決に導く研究能力を有する。アドバンスト:10% 準備教育:0%, 大学独自:0%